

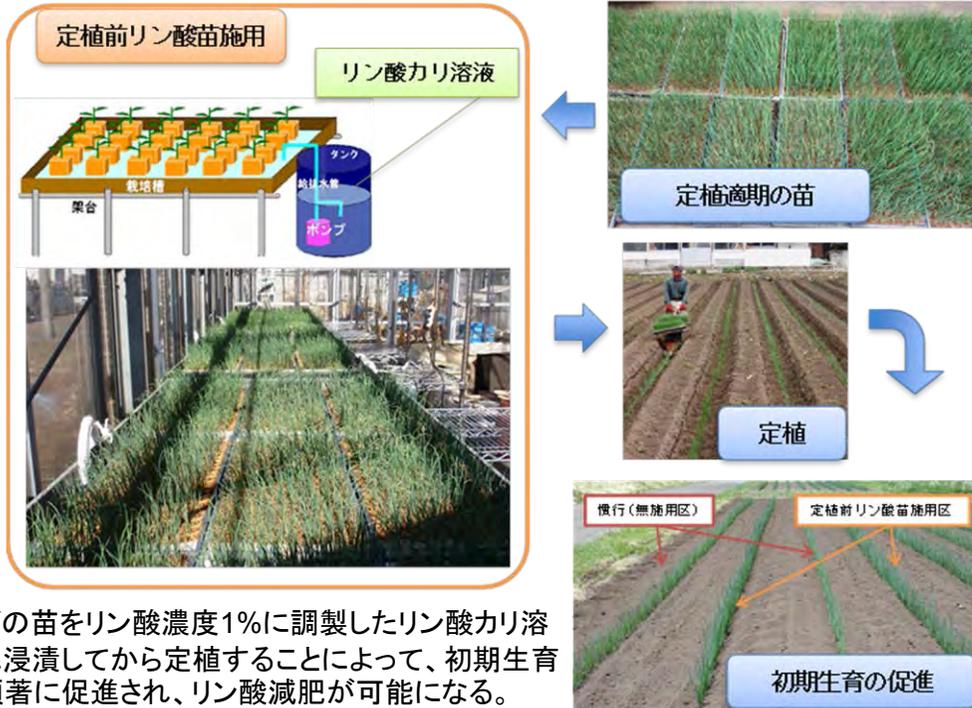
増収とリン酸減肥を可能にする定植前のネギ苗へのリン酸カリ溶液施用

ネギ苗を高濃度のリン酸溶液に定植前に浸漬することにより、リン酸施用量を50%削減しても、慣行と同等以上の収量を確保

研究開発の背景

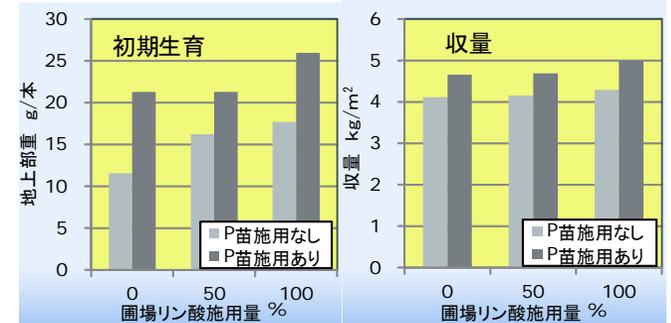
- ・国際的な肥料の需要増などにより肥料原料の価格は不安定化。
- ・その中でもリンはその傾向が顕著で、原料であるリン鉱石は将来的には枯渇する懸念がある。
- ・それに対応した減肥栽培技術の実用化が喫緊の課題。

研究成果の内容



ネギの苗をリン酸濃度1%に調製したリン酸カリ溶液に浸漬してから定植することによって、初期生育が顕著に促進され、リン酸減肥が可能になる。

導入メリット



初期生育が促進されることによって、圃場でのリン酸施用量を50%削減しても収量が高まる。

収量が高まることによる収入増によって、定植前に使用する資材費や労働時間増を補填でき、収益性が高まる。

10a当たり収益性の慣行との比較例(増減額)	山形県河北町	福島県いわき市
	9月どり	8月どり
販売収入	182,000円 ↑	125,000円 ↑
人件費	6,000円 ↑	3,000円 ↑
支出 定植前施用肥料	8,400円 ↑	8,400円 ↑
圃場施用肥料	→	6,000円 ↓
差し引き	167,600円 ↑	119,600円 ↑

期待される効果

- ・野菜産地では圃場へのリン酸蓄積が進んでおり、それらへの減肥栽培導入が促進される。
- ・収量増・資材削減、初期生育の促進による作期拡大により、産地形成と収益に貢献する。

導入をオススメする対象
東北・北陸地方のネギ栽培農家
特に、越冬ではない夏ネギ作型に適する。